

自治会幸せネットワーク:無縁社会に立ち向かう

茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長 長谷川幸介

1:人は独りでは生きられない

人間は未熟で生まれた哺乳類⇒幸せに生きるためには一工夫が必要
「幸せ装置 (=社会)」の創造とメンテナンス
* ちょっと動物の話から…

2:幸せの「4つの縁」:「幸せ装置の中身」

独りでは生きられない人間の工夫=縁(人間のつながり)
4つの縁=①血縁 ②地縁 ③友縁 ④職縁
* 「4つの縁」のバランスは時代とともに変化する(4つの衝撃)
①民主化 ②都市化 ③高齢化 ④無縁化
* 無縁社会化の波に直面している(地域福祉の現場から)
認知症の脅しに立ち向かう!

3:コミュニティのメンテナンス:幸せ装置の転換を図る

新「役」聖書と旧厄聖書

「2つの世界」と「2つの時間」を生きる:2人の暮らし方は?
定年退職世代の憂鬱:7つの別れ⇒7つの出会い
①会社 ②役職 ③仲間 ④お金 ⑤家族 ⑥健康 ⑦情報
新しい町内会・自治会イメージ:幸せネットワーク保険

4:コミュニティの2つの機能

1969年国民生活審議会答申「コミュニティの復権」の背景
表裏の機能:①相互扶助 ②相互監視
* この二つの機能のバランスが重要
自助—互助—共助—公助の現代的役割
「地域共生社会」は病院完結型社会の受け皿になるか
地域共生社会は地域競争社会かも…
市民協働とコミュニティ:幸せづくりの土俵(鎧兜を脱ぐ)
明日のための今ではなく、明日は今の暮らしから…

おわりに